

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 「大容量データをリアルタイム処理する
メニーコア向けソフトウェアプラットフォームの構築」
2. 個人研究者名
安積 卓也（埼玉大学大学院理工学研究科 准教授）
3. 事後評価結果

超スマート社会サービスプラットフォーム基盤技術である、大規模データの高速・リアルタイム処理を低消費電力で実現する技術の開発を行った。多種・膨大な情報を組み合わせて状況に応じ最適化されるシステムの技術開発を目標に、スケール性、省電力、リアルタイム性の課題を解決するソフトウェアプラットフォームの構築を目指した。

提案時の研究を一通り完成させ、完全自動運転に必須機能である自己位置推定及び、経路追従を提案メニーコアプラットフォームで実現できたと言える。また、本研究領域の研究者と連携し、共同研究を開始し国際会議論文が採択されるなど、将来に渡る研究者ネットワークを構築した。さらに、国内外の論文で受賞をする等、一定以上の研究成果を挙げたと評価できる。

今後は開発技術の適応先として、自動運転だけでなく、小型モビリティへの活用等を目指して研究を進めて欲しい。また、企業との情報交換を発展させ、企業も参画した共同研究や、より社会を意識した実用化や特許の取得を意識した研究・展開を期待する。